務委員及朱哲元氏と解説した主党(総席提携に對しては先づ北支より【天体十三日同盟】さきに敦毅戦「ると共に自己の決意を披露、日支

經濟提携に對しては先づ北支より 習手するとの大計の下に具置案を

たものとして非常な期待を以て見られてゐる(劉真は王克俶氏)

観の町即能戦後いよべく北支政撤はこれを以て流く峠道に乗り且支の具能師提派に本税施が一步を第み出版を行成し、所及び上海各館との戦弊を将渡し他方月本前との必好臨盟蔣鵬総職立に努力するもので北支欧

策、湯爾和氏等と外一名を以つて組織し北文事應に善處するため一方に於て南京政師して右常翀委段館は土芸館氏を中心に王岳居は帰作民、秦徳朝、曹政

の承認を經て即時質行に移す(一)門汝霖氏と湯爾和氏を

【ワシントン十三日同盟】 アメリ

太平洋岸の

道起腕部に超少の不啻支出につき道起腕部に超少の不啻支出につきていて各組より天火間いて命るが他の反面において摩奴の施行に個し後来の警告を破りる必要があると考へる、護管にあいて

四年省営局は太平洋上の新情勢

竹田宮殿下 八月御來鮮

暴力壓制限に

北平十三日同盟】王克鹿氏の北支乗り出し決意により双梁政権の强化と共に南京政府脈に日本側との特殊関係調整による

眞珠灣頭に 大浮ドツク

出版、先づ原国資相上り更

官邸に開館、區田育相以下

| 元氏と数回に置り重要的談を選げ駅がなきが以交換を行った共績果及総政物を改酌を擴大して明朗北支出現は主氏が今月末城北上するを機能に愈よ質質的に期待されるととなった主氏は従中三月間末時

名質共に北支虚層統制機構たらしめるに穏見一致し左の如く狭穏を儲めるに至った

(一) 派祭政務委員會に常務委員を復活す

朗北支の建設に

元敏氏愈よ乘出す

まづ常務委員會復活

慶祭日は十四日午町十時半から同 フランス國祭フランス

に関する既急制令

果の倒下波しを行って十七日の定例開筆に附り可決を見る運びとなった、欧胎は直らに認えばぶる七五日膨脹を認識に上述欧肝脱条連累は深る七五日膨脹を認識に上述欧肝脱条連 一八日公布され

は原日より変力を終生することとなった。とのでは、上来の歌句を経てな前手をして、上来の歌句を終生なるになった。

和介も、他の都も、ほつとしな

新内部周十三日午後「今日はお」 おりも 値の表す ほっとした 盤がから緊張りに行く」と中込 がら、彼女を奪はつて、登録の土 5・版フ・ルコこの ら参つて

火は西南亜 深さむさい、でしたあれば何岐で つた。 要がつけられない人間になっていって、 変し突の線 功力が増すわけでもない。在家の「嘘寒、 手がつけられない人間になったがら」 変して何尚になっためら なぜゃ し 資格カまえに 見り するて 等して僧侶になつたから、意態のからよいといふものちゃない、蒯

軍隊製 校に発出りは 殴だけだ | 型で耳にふれない狼りで云ふたが | である。 折にふれて何かいふと、 筆でお肩に名誉の貢献をした、 | 申さうと、 佛の御別談はあるもの --さ、また晩に、文句を | 平次郎は、ふた言めには、

一個がたえなか

定例局長會議

「報告、次いで矢島農林局長から

萱場警保局長訓示

山中大吉氏(解設士)済州から 段)十五日演説より京城が利人郎俊備院軍中將(貴語 東京に寄り廿五日京城

め民衆生活の平部を確保するに 多大の効果が齎したるが、道症

来訪(慰養井上清氏)

さても気の荒い言葉のはでる 天地支黄

|を打ちこんで、病児の嫉姻を亡う「平久郎郎へ行つて――それも服祀のの、如若が認に、夫婦共に、若一ちに明っても、 壁に、ふと病みついてしまつた。

けれど、良人は、神佛を仇敵のや

でーー-- 垣の外に

してゐるのであ

史苦くは除却する等の行動を探測量意を能置し叉は隱害物を返測量官吏は他人の土地に立入り

立人つたり、側趾標を設置し、従来は側趾の為に他人の土地 立入等に關して

る二月六日副令第一號を以て朝鮮 **発標規則の内容を強化するため去** って今後は世界共通の三角語にを

式で次の如く激表した

五日から實施

內務局長談 適用戦闘の擴張

内部局でこれに闘する施行規則を 一曲川道標合を銀佰、その後本府

り臨時土地調査局に於て設置し。

豫め告示をなすと

は周知されてゐる譯ではゐると問題明した告示に依つて其の一般則した告示に依つて其の一般知明に於て極めて困難である。然し第二項に於て極めて困難である。

官吏は證票携帯

標石敷地は敷用

MI MRの合合に於ては必要に施じて地 な 各種原よりも大々翻言ありたる後 す。

時間再致土木事業に闘するも各種の補助金に闘するもの情質に聞する読合事件

朝鮮にわたる疑惑及び読合事件に

容を詳細に説明しこれに脚縦して などにつき融合式の不正取引が行

総督、総監も列席、先づ棟居祭政 の入歩者は實に十二萬三千三百同局主催の十五周年記念展覧館

)年完成を目標に着手の報

南支那海部朝

自分の一足々々を見つめながら歩 て来た。何と思られても、馳はれの睢や、森の甌を、原向いて――――と、お吉は、奥節を守りとほし、河和田の家は、遠くなつた。田 も……) 貼がさめる日

0

ら、彼女は、心のうちに、斑と

では、近くの宮村にある上人の経ずをとなへてある事がわかつた。 かと、彼女の哀略なわかつた。



治 15 作 dai

(182)

夏

績信

おえ壁ッぱちをいひ倒らして、仮つらあ、神とか佛とか、ありもし のたねに、食ひ歩く山脈だり (神七佛七、

離に事意特許の数法により機製されより美能美脈の様パパイン酵素を主る程です。アモンバインは環特を秘法

美をどんな方にも誇る事れてありますので必ず貴女の

が出來るのです……

の特異美は夏に膝るものなしと言はれの膝ちなものです、然し女の容姿とそ夏はどんながでも美に對して自信を失

し館俗があれば、歴奕、女孤ひ、そして、仕事はろくにせず、すこ

お古は、良人の深間を、無知も

バヤにお任かせ下

夏の美をアモンバ

*5.....

特

効

ゐたが、元より能しい職人の世帯ないと思つて、初めは素直にして

ニキビ取りに **ヅバカス・シミ**

Þ 吹出物・陽やけ 化粧下 に

定 一號一個八十個

化粧品店に有り

・用魔霊群ン

經濟開發に全力傾倒

元すると共に同砂質に成大の重症 に對函ハワイ資味時間高を強化が

米鮮遊ばされる御婆定である

一千十六呎、幅片六十五呎饂篋製で

常局長は第二天鞭力艦衛路に騙しれた刑事態長感誦において労出勢 重要指示を行ひ今後の不當威力超一場の測示をなすと共に左の如き

一、暴力行気等の取締に闘する指 脱取締に高置憾なきを辿すること

金宗仁氏を版西蘇晴主任に白

称局次長鵬に各省次国史途その他「東京担話」登號局長官、財曜事 調査局參與

三日的を以て内部から左の如くに任より深副近局参與の加元は

の理由より演集― 安旅度と決定の理由より演集― に過ぎありと 開機圏は国家統一に過ぎありと

抗日教師策(蕭佛成氏その他

の結果日本側の支持の下に北

表の取代は北支の取得を詳細

に至り王敬殿氏は本日斯一その威酸を掘ぶこととなった

明起に全力をは倒する決協一職定、産業別建交連綱の勝力等に 緊部院委成領主脳として本歌となり提げて低く本月中に再び北上し第 つて北支利が、財政、金融の安定

中全會々議

西南執行部の廢止

服を明さ新か石氏以下各条政出版 全額は午前入時より第二回正式翻

撤匿の件(所紹佐、孫科、王龍)、西南朝行郎及西南政務委員會

東洋のジプラルタルといはれる香港に英國極

根據地の完成は特に急がれ、シンガー根據地の完成は特に急がれ、シンガーが低に和職職所との同に交されてゐると既へられ、然低に和職職所との問に交されてゐると既へられ、

開館取産諸島の防備をも併せて保証すべき記

羅多岐の避賊に盛み、一九四〇六年度完成を目標に東京電話」製方面への人間によれば、今回英國政府は極東領線の

容を決定

十六種目、女子五種目を發表

イフセンインク 娘三人家出

外國人一千三百人即環境草臓に夢

精の總質上高約二千圓の好成器を

3男子十六級月、女子五郎月のエ べきオリンピック大病陸上脱技 日本の名を聞かせた我陸上代 三千米隨時 今井哲夫、田中秀 **千米陸時** 村上正、清水學太 近づくオリンピツク大會

目は十七日正式決定する禁定であ

るが、十三日協議の結果大體次の 上代表師エントリー未決定の五種

わてから都に出て働きたいといつ 學在與(で)立光復(で)の三人はか) 京徽道安城都元谷面の徐溪感(で)

朝鮮同

胞號愼機

けふ都市訪問最後のコー

誘拐が?

てゐたが、上三日午後三時宮城に

願ひを出したが誘拐犯人があるの

向つたことが知れ、本町署に保設

イールド走船路、三段路の五個 四百米西田初芳、今井慶二、 百米、二百米、四百米、穩定、 七月更に協議決定を見るこ ▲砲丸投 高田原雄、松野菜一郎 ▲砲投 長尾三郎、椎野菜一郎 ▲走巾跳 朔殷裘郎、田島直人、 奈良竭良二 西田修平、安遠祠 は釜山市外に一時間十分立往生し 午前六時半~中山人非像足の連絡船

●野、市原正雄、青油球磨男 孫基碩、歷胞王男、 絡船の航行は困難を極め、十四日十三日夜開発海峡は週窓のため連 五種目内定

▲百米 音剛隆郎、鈴木剛多、佐 願ひを出したが顕紫殺人が、 ではないかとにらみ郷部中で、 本書職 その他の 釜山沖 下り列車遅れダイヤも凱る

・リーを买の如く決定。トラッ

平壤飛行隊總出

けふから京城を中心

行、ダイヤは遊乱した五分距れて午後三時卅五分到初北

平均三百廿回蜀、總價於八千六百

感 鱼 百八十週, 酸低二百八十回

順人軍馬を 満洲へ

> 四十五郎で購入したが、これらの 人馬は九州一個を馬産地とした

り州六分迎れて毎山健京城には十

ことになり、『のぞみ』は定刻よ|顕中乘馬十、駄馬十七紀廿七頭をに客車を増結して厳容を収容する|三干七百八十圓、京城は百五十一

程で京城に離者の豫定である。 成に接換を贈り無治歴三時間の航 なと接換を贈り無治歴三時間の航

製途中相當の別点流を増加して政

不吉な豫言の女

したので同午後一時半京城飛行塩

容山を増結して旅客を収容する

西鮮から南鮮にわたり行ふ

中国現代的大戦略では一四日か 二百敗十名に及び、参加機は喧ഗりその参加人政も中高級院投以下「川、飯町浦・中高、の仮船時に亘 の如きも意味を中心に大邱、群山一曲買收を交渉中であつたが交渉能 終り明年度早々君工、昭和十三年 排天武理附近まで拠まったが本年 一杯には第二期丁事原城の買收を

奏る軍馬の購入を國南浦と京城で

十三日間にわたり酉丁吸附館で明

優良馬種

京城南部幹線

世の施行道路)傾町二丁月から一度保算に四十五萬一千田を計 「治では南部」「統当時(北本町 | 日の出小県技師の資路新設は本年

> も比較的無資力者の多数を占める ため無料産婆を配置したが形内で

兄城府此智郎では府内無数力者の

づ無料産婆 京城北部に先

教へ子たちの報恩!

今秋還暦配ひを盛大に行ふ

北部方面を貯留することとなり北



料産費は加次各方面に増加する摩

京城帝國大學都長選水提門士は来

進である仁川と汝矣島飛行場との が、このほど一月から六月迄の今 子を示し、ます~(増加の傾向に 即する外人も昨年の三倍に上る敷 野出融の的となり、融級のため來 東方面では海と壁との

ることになった、至の國際路の趣 統計を完了

さずがは非常時です

専賣局廳舎も 光化門通りつ

火事で三人負傷

カンテラから發火

干 選 樹 樹 午午午午 俊町 俊町

仁川の潮時

昨年の三倍に上る

支那人の見せ金に盟まはし

で銀行家・質察家、技術器が弱い他七(一九)

約三倍の激増する。

で各項線を派してはあるが、特に「戦争は低に数略を感じ」部では強「無英国の推算で校舎戦略の買收をで各項線を派して総合が「使に移鞭せしめこれを使用、一方 愈よ大官廳街出現

戶上號之、古田康治、 大島雄吉、原出正夫、 遊が設隘の向上に多大の効果を奏 質中であった學覧創業十五局年記 出度く閉館した、飼期中に於ける し十三日午後九時学を録終とし野

地人一萬三干人朝鮮人上<u>萬九千人</u> 認入事人與十二萬餘人,此內認內 正月の靴を盗まれて 半年がかりて素人探偵

○――京城党井町二二七李龍磐お 〜――京城党井町二二七李龍磐お 〜―― といへども症の根を分けても探 早々線起でもない」と京城版し 遂に七ケ月目に鍾路で發見 ◆── 京城司蔵町二二長吉成(""" 路階へ突き出した 七ヶ月月の十三日仏京城舗

ペペおべんとうさげて個人概算し出してみせると、ばかり毎日 でお正月來配製門に荒してゐた

たうとうその時の泥器を踏曳頭

脱数を所持してゐた が死亡した。なほ同人は内地行

衛生技師

本社後援、帝國飛行協商主席金館 | であるがこのうち支型の現在四十 | 窈嬰によるもので、入國傑作の見 |設静市訪問飛行の傾飛行士協議| 九人(三十六人)が報題となつて | せ金一人百回を入辟後再び送金し 数の衛生技師なく僅かに地方登 **変師で消極的な新生事所を行う**

ある特に支那人雰囲春の演唱ぶり一新しい人能者が持つて来る思せ金 これは鮮内の各価産業、鑛工業の一てゐる抜揺ご注目されてゐる 増加の傾向 にあるが、一見られ、この監取編の帳路に飛じ のたらひ題しを行つてゐるものと 年技師増貨政算一萬八千圓を提出 説の陣容を樹立することになっ して流産となってゐるので明年昨 は是非とも實現させ健康朝鮮

結核原防の趣旨を徹底するため 日報配では簡明な標所を一

女を梳料収調でゐたが一四日朝に

校でも熊雄出来る、一等賞は八月十日までに宮製ハガキで 三十四、住作には沸融を出す

山海化に 御家庭の御食物にも

ŝ

りナ用無耕珍ル優 = 料雄・効実

中百条百八-在41下性慢性急

中絹代林太郎

とか内 大児 利利料

飛放れたキシビキド 髙貴菜一度服用せ

京场府黄金町三丁目永樂町通り

大院随意 有應阿里 超音 京城 三二二八五人院随意 有應阿里 自然用 网络第二人名

全般天氣豫報

隣にしみ込む唄豐と翔白

た流行歌が今までにあらうか こんな強い印象と感激を関

毛類の洗濯には

書き送る 端唄

十四日朝の槪況 豪傑ぶし ならうの雷津磐根山 つそし

東京大大きな お夏・お梁 恋儿 **基地太极新**

普通銀行業務『聖師業界』 原日年職定期貸付『日本銀行代選四

大和 電本二三二 城縣

固型。粉末

社會式株築製業工一第

能可鲜殖產銀行

高角鱼

を孫二人は全身に大火傷を買り 人邱驛で自殺 ふらく、動悸・痛み腫れ震ひ・ぜん息消こり頭痛耳鳴り・物忘れ根氣調かず

もが競込自殺を全て手管を加へた 星州郡移倫里午川湖の女文秀順 のぞみ」が大邱縣入縣の歴史 B 及は半身不履・舌もつれの中風となる。 動脈硬化から突然脱溢血で心臓痲痺で繋れた 便秘不眠・神經衰弱・高血壓シビレ・

心痛、大ケガ、又は大島、醒惑などで、卓淑、芙、腎臓病、糖尿病、胃腸病、冷丸込み過勢 化せは治る。決して不治でない事を確めた

ゐる、醫務局では昭和六年以來能 応南北、黄海の四道野祭部には原 郷元の努めてゐるが、現在江殿、 桁銭粉局では鮮内の衛生施設 黄海に 美味桃屋の 桃の謡 霊晴しい血液浄化剤 を破場し

味在言葉で留守中の婦女子から金一が磔剣されたものであるが、同女 京城釧路者では、既報の如く不気」せるとして金品を昨取してゐた事 巫女を配下に持ち

マヨネーズ

7

製造元

總代理店

を表ぐられ

党交

ネオヂリン偽造發見りん病験で一番ヨクキク

の必携築!

一液浮化療法を駆切に散へらる一川と成仕事に関すし影解し、大阪市中行政一

部を詐取してゐた二名の所感詐欺。は顧難に否定し題に被密緒達も自

ら若い男異論奠一ごを連れて敗を 恐れ甲族をなさぬ婦人が添いので分の無類から天に叱責される事を **放調べに困つてゐる**

局原に쀐く **闘谷生れの名馬**

李王
映牧
場で
競賣

る、共の馬艦は『サラブレット』 一般場で螺貨により一般に剪却す 終って何れも相當の能力場とな たので、来る十八日午後三時開 一般場が出し期の調政

程場で何れら度寝であるが其の中 鼠四頭、 デングレアラブ!! 龍七 には東京共の他の公認頭馬で騒名

長の重賞に就いて後、半島教育界 型問題館では總長が廿六年間終始 身で遺憾に達するので、耐大 | 功労に報謝する意味で、讃嘖妃門 大總長) 式を能大に銀行すべくその準備に 方仁川心の状態は一萬百十人で

和五千名の高増、国別は(括画内

(公司)</l 然六多數で英國人と米人が地位の他で支那人(苦力が主)が斷 達方温英部でのカンテラの火が飲した。なほ就駐中の客をすなご 十四日京城治川町四七年版商下築|帳に移りたちまち同家|棟を全営

〇九二 (一、大四七) (円能は英五 (一六)米七 (三)

忠層北(唐西の風 るが報 電 東西東南

三九 玉郎 - 近数 - 方丸

K_3V_97E

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

有賀光 盟

TET Chamathate actually as when eighthe than all the characteristics.

宗神經痛 は 血液の混濁が因 血液を浮化せば治る

通路として使用された「難心鏡」 ところをみると蓄味は粗蓄の價値が破め米別から後或の初別にかけ もの出所不明) 郷屋されてみない

以下小泉世晩館長の話

一般と自分も近すがで自殺を持つた。 選を調べて見ると なりを乗り返を到 の部別に残ると

要殺しの男重傷

に街は郷風の地版面だつた。同所華氏に直して九十六度八分、まさ

八度一分という強男であった。

情痴の末

人妻慘殺

出稼男に手配

の記録に残る今日までの殺人的は

支那にもない

三度目の

發見

小泉さん熱心研究

配で質に促進な珍配である。右は

遂に赤痢患者

四十名を突破す 底知れぬ跳梁に

> を祈りつけ殺害し現場から逃走し 七時頃間町の末短刀をもつて間女

十九娘服毒

嫁入りを嫌ひ

技さ三種二、市一類七、厚な〇・ の富川氏のものと三個だけの出土 作師、大昭の自神園氏(いづれも れたこともなく僅かに東京の動使 門支配人の手に入つたが、『和 か今回はからずも平型歌道ホテル 間都林殿町大型山麓に似在する路一中「佛像の頃」は金銅製のものでた正式に手入れしてない。平濱大一直著第の15~19月1日、10月

際で終期 肝内に 高句麗時代の遺物が 現れ 土してみるが右の如き金銅製のも **熊軸の如 | ら約一ヶ月半に見る豫定である。 | つたので従来平原郡彼川面あたり**

これが銀掘に先だち起近ほつ~~からは泥佛、石俳響が相當多數出

頃のみを一て話題を版はしてゐるが似近のものは實に珍しいもので博物館に陳

ので「耳飾り」「側像の頭」「以」列一般の 急観に 供することにな

佛教全盛時代を偲ぶ

重な佛像發見

耳飾りや獣面なども續々逸品出土

地下に夢を結ぶ 一千萬圓の金塊

李朝の富豪が兵亂で埋沒 遺書を繞つて五人男躍る

ン帽が放置してあるのを巡視中の

もステリキ及高密と記したカンカ 上鋒入りの避口に党義山の取割あ歴下手線五十米の駆跡上に「囲五

军遇 十三日午後九時学院大尉

江へ投身

に新くその地蛭に達した五人の男。歴長に並返されたが、その聴季消四下薫画の金塊を探し収め五年月 | 長のために曖はれた腕奏消一家も「年妻」離か、成か!地下に毗る| の遺形によると徴度その一帶が原 平断地幸町構造加手氏」は耐家の貨物を囲長に傾はれるの

れたのみで全く「王華報」に似た。「歌各方面へ巧に選定を照けてゐた。」子宮院にかつぎ手宮を加へたがも、「取調べの結果

す逃捕されるものとみられてある 爲替を横領

お辱ねの少年就縛

れるまで東京、旭川、岩泉澤、七出戦、以来六月廿六日渓湘ミーで出戦、以来六月廿六日渓湘ミー

五月廿八日道贈より到著した小 長支語の現金に扱ったうへ大連 現支店の現金に扱ったうへ大連 大二郎音な中で、投ったっ、大連 大二郎音な中で、近ったう。 大二郎音な中で、近ったっ、大連

所員の悪事 四部町五成商館制で貨物中の八千一

部落民が大擧して

管古軍整祠駐在所に口頭で訴へ出 受信兩番個の間合せで途中に誤避 化されたことが割り金有京より所 た十回の小場替を横倒したが部信 四金有京郊に四重動便で遊って來ス迎報手金配高によりり問題三〇 「師便所は替係陛正芸」。」は去る **管川**】紅川那梁川面古軍營洞軍 一十七日海洲殿新京市銀網六

線路枕の泥酔男を繞つて

平南線の不祥事件

【大四】十一日午後三陸五十八分 押へ降値瞬に連れ行かんとしたと 命知らず礫死

勿論のこと銀行部落氏を徹底的に

淡ましい男

まさに熱風地獄街

十二年ぶりの記録的暑熱

うだる平壌の氣泉巣變

道の語は、が、婉称も単は求る九月はじめか、あり、常時は眺秋の致傷時代であれた類似を情を進めてある。を数な素和な情があまれた類似である。 | 勾 麗 古 墳に主力を注ぐことくし | 節の長さ三糎貫に天上天下の衆生 | 後間署の厳重な改調べを受けてゐ 博物館に一光彩を添ふ 兄嫁殺し犯人 舞戻つたか 去る九日貮川客に押づされた。東告を受けた同能な所では取た、東告を受けた同能な所では取り仕業と轄り 不埓な稲便

煙膏も効なく事性観生後十一日を「遊跡自七十二粁の単蹠に北行の列」に彩砂塊の彫匠を取りまき「男を」の犯人村埋臭"』は馬山製設光の「職養山影響地面定坪消泉釜鍛造山」ころこれを見た財産影響児が置う「熊木することにした

の犯人根据可では馬山粉終死のに異常な服みをそくった殺死事物

【馬山 既報、破止掲近くの人々

刑事除躍る

質量に整数を質り十二日毎四時間 逐に死亡した 五十男大同

器れ渡ばし、郭は南足を刃跡、後「悪走せんとする少年を五城西廊の郷路で郵ಟ甲の開州郭輝嶽、」」を「十七國縣入りの建口をスリ取つて「峨がさしかゝつた歴代を妨狱して「代耳聚果芸(よ)のポケツトより二 既設が跨路し起経の上、取押へ平

から身投げ日書人道橋 大同江の珍事

通行人が避免、直ちに致助し手常

一府内鉄が里一四三宋定柱へもつとい 間もなく経命、機能の結果、右は を知へたが老齢のためその郊なく

女の放火悪口を恨し

智る問里の風ない説みる相か出致 分の思口をいつてゐる夫の能如に [華國] 大师都西川面川南里區奉 影響の悲舞氏("心は目的から自

た小説氏に観記され未退に終った れに行き聞ぎ中原家に欧大を全て 三日午旬十一時期最后が帰の手入しの機能を聞つてゐたところ、十

窓中のスリ党戦者であつた 「中央」十三日午後三時ころ大師「八際山の家族を抱へながら『歌記』というその原上りの社「江人道護帝」と「ヤナリ江中めが「ため脈形自費をとげたうのと短期が上突を出したが右は住所不足」 【中集】十三日午後三時ころ大師「八際山の家族を抱へながら寛服の郷地に突き出したが右は住所不足」 【中集】十三日午後三時ころ大師「八際山の家族を抱へながら寛服の 横領金で各地遊廓等を漫遊 色道に徹底した南浦府廳程員

無毛等毛髪の惱みは是非

フケ、拔毛、若禿、若白髪

ワカミヅ」でお手當下さい

花婿の借金から掠奪監系

他徳川面推定甫の三女崔宝峰(た) 養地さんは本年二月十五日徳川 | 訴訟を提起し以来佐藤建物長係で が下されに事件はケリがついた 当に金質圏を支援よべしとの物決 一般川中であつたが上三日被告は脱 盟地方法院に不法行為による 三四の後の間が施に思い時間次

放火男に判決 懲役二年六月

氦

(製創力協生先功札掛 生先夫猛上井士博學醫)

を根に友人の家に自己成火した湯 事末が通り感役二年六ヶ月を言政 だと断つたために殴打され、これ 【大郎】酒を飲むのは属ッ平御窓 に係る住居侵入、放火事性は十三

项里金里浮が耐里型塩母に一個五 「平場」十三日午後四時ころ府内西

財布を强奪

はいつも現やかな音を配放させ、ます。「ワカミッ」を用ひてあれ

お迎の臭いのは人に不快を開させ

人に好感を與へます。

髪の惡臭止

から手を伸ばしてこれを弱軽速定

いて盛日を出したところ突然極合

饌の借金を返開せんと路上にお

問政は起と父親した自我的に戦何を翌明する高族出し に自発し頭膜を刈つて脱軟し交は

元山の簡関點呼

監督局の政権



は「ワカミゾ」を朝夕お用ひ下さ い。形みや不慎を一掃し、いつま でもこはさずに耐みます。

水浴に

派な主観を解めます。極から上

日やけを防ぎ、美髭を飾ります。 カミグ」を用ひませら、潤やけ つたら異なでよく然ひ、必ず「リ

したものと大いに異なる點です。 とりる単純な刺軟や殺菌のみを主とし、毛根に榮養と活がを興へて毛根部の機能を健全に 四を除いて毛根部の機能を健全に 四を除いて毛根部の機能を健全に 四を除いて毛根部の機能を健全に 四を除いて毛根部の機能を健全に 対して 一点 を したものと大いに異なる點です。 のワカミグ』と御指定下さい。 出来さした。お求めの折は必ず『誘旋社 出来さした。お求めの折は必ず『誘旋社

发七0发

荒さうとしてゐます。 あなたの黒髪を無残に

やがては秋の抜毛、赤毛、飛毛

の原因となります。

汗が……汚れた治水が……

上る砂埃リが……滲み出る脂・止る砂埃リが……滲み出る脂 直射する强烈な太陽が

原み型の語館になりさら 祟つて慰藉料百圓

川の菜自動車届に立路つたところ 変入れの途中自動車に乗るため臨 では、 富の花線さんはお 日もお流れとなつたので濃弱した。宅に監察したゝめに折角の薫道古 時預かる』と花嫁さんを掘つて自の酒代を振ふまでは花嫁さんを一 同面の金属香、植和家の卵名が現 さりたまつてみるから金さんがそ れ
『お
嗣の
姫さん
には
遺代が
どつ **得へて得も焦れてゐた花塚淵積を** 2は約一百個かけて武装の設備をことになり金さ

金さんは前記网名を相手として平 邪推?から兇刄 食刀を揮つて妻を斬り

行し、上三百年前一時領跡宅した 二三二金明本方正常製品型五年生ところ、要の根宗體で記が総岡町 【光师】府內楊《町二〇一瓢東光 (''6)は三日側所用で鑑光方面へ底 相手の學生に暴行

節節に結つたお気を投持させるに 頭の痒み止

5 者的名、無到不善者一名であつた。 対の名、無到不善者一名であつた。 明七郎歸族著合中佐によって朝行。 興君者 三百八十一のうち顕如不参

部長の唯一の趣味は 元山海水浴場に避ん ◇……かつて友人と 脱砂監督局の延

だ時のこと辿りがか つたのが脱る場でム

つてみると意外にもお巡りさんだ とした利那 ボンと背を叩くもの がある。友人だと思ってバチリと やつてのけたのはよいが振りかへ って恐縮しましたネ、まだ半

Ó なつてエ

世上日返歴。同年十月戦闘部所は

出すと同時に数徳者は世事の遺迹とせるに各数短所は争つて解散席をに拠<equation-block>の、献金、市教等一切を厳監 木甘、椒陽の三数初所の閉鎖を続

じく謎り合つてゐるのを見て、カ

【平導】府内限上里一一四段米ミーけたのを奇貨として代料費と印鑑|弄火 より秘野と土地の登記の依頼を受一は大嶽蓮を転した、殿因は子供の とめたが人家の配集地だけに一時 忠州の少事「黒州」ト

度五分に低下し減分就しくなつた したものらしい

次いで月も日も同じ本年七月上二

記録をつくるのではないかと見ら 一子で行くと今年は開所以来の疑屈

が。市も配らない早天配きのこの部

ミシン屋の 舊惡

宅で加密中、一方同金型器は倉朋 り配められたが、被害指根女は自駈けつけた膨人の手でやうやく取 を負はせた上頭いて逃げまどふ金 闘宅して見ればこの始末なので一 である、脳路は加密音野東光が出 元で何か心にかゝることがあつて 以回記打しその国に否倒せしめ、

岡に南人を怪しと邪推した処行だ ともいひ、またもとく、雨人に妙

内縁關係の花婿に肉薄

死を覺悟の抗議

教に對し一率取締を殴行、瑞典、 【論異】音気器では道数形数型天 な關係があつたともいはれてゐる 普天教潰滅

| 一つ・十三の開日にかけ交も九名の| 鎌き暦底に注意を表現してゐるの影別にますく | 延蔵をふるひ十名となつた、所述では院袋に手をのた。

市が創選をのみ自設を全てたが家一代側(*と)は去る上一日午後多量の

下闕でもは去る上一日午後多量の「大あばれにあばれ出したので白も」(定開) 昌内境外耐金公子の次女」を握りしめ白を殺して自殺すると

ものゝく平壌府民

日の三十大度は正に十二年目の箱「某がぶに入らない上、嫁入りの部」に引き出さら置き退む人間を担めている。これでは、日の三十大度は正によって、「のは正文語詞語と能説をなしたが、らが、間人は明和大年一月より昨 同十三年七月十二日三十六度 | 熊郎は、本年二月郡にせまられ、| 鄒彰で平寧逊の取割べを受けてる。同十三年七月十二日三十六度 | ▲ 人に鑑見され離く | 爺は助カつた | シン面鏡器砂金取虫・ごは月下碗・同八年八月十二日三十六度 | をおこし昭和八年五月師里擬図書 とめたが人家の結集地だけに一時里代世界建筑の方に披藤中、悪心 ら出校、暴賦二棟を学嫁して消し 年四月まで平南平脈郡公徳面與室 二日午後三時間山里朝鮮人家屋か のと物明 金に目がくらみ誕作版になしたも金水道でしたといい西質の左側から せた平野潜政が襲起・避御攻調べした男を兩名して記跡中、通り含 たところ右は新陽里一七二新以西

金だ器("一)何れも一般名…と睦ま

背部に切りつけれた寸ほどの整備 込み不蔵治動くなと明んで根女のットなり駆所から朝鮮食刀を持ち



次角無代連星いたします。 小扇子[毛壁の籔生と美屋法]末錦へ中込



東京・大阪 王 選合名 名 會 社





ひ方は、洗面器のやませら、絹靴下の洗

又はマルセール石

拝裁の、どれより一番配置な、そ

を入れたところが首になります。

の部分に脳のやうな紅を通じて程

全部水となったら昼後に震災害を作業を少くも三回以上繰り返し、

館の管から至君を出し水を代へる

ぬき新しいのと代へます、この値から、そのきたない水をポンプで

中の凍らない部分へあつまります すから、水の中の不純物は自然展 はじめるのは歴に近い部分からで 出しながら凍らせるのです。凍りれ、それを管からブーブーを消む

よくしまりをつけて蹴さます(京

一永を見ると、眞中が白くなつて見せます、連般されてゐる大きな

裁ち方はこれだけで朝と関一城洋忠忠院前均外男氏デザイン)

あなた方が今までに置った

裁ち方はとても

·簡單

を結婚で潜し、水

けは手まめに洗濯し れても、先づ靴下だ

いものです、何を応しい夏それは逝だし

で、殊に思るのはげー

り下さい

能下を認定してその

中に浸し、揉まずに

非ともこれをおすゝめします

八造(水(は

どうして作る

惡質氷の見分方

ちよつと散策に出られる時、特に してシークな夏のドレスの歳ち方

せう、御家庭にゐる時

の脳は尻歯の二分の一に十組老加らに扱わます、即ち、若丈二枚折

氷の製造工程

まづ好みの洋服地を組のや

してその床を一面に丸竹で扱った な新しい掠み堪が出来てくる、 **うと、恰度洋風のパルコニーの標** を作つて、三方に手軽な手摺を で庭の方に、一坪半位の出つ張り の絵側の一端に、それと同じ盛さ

一般だけを動き取つて、なるべく目

味を與へることが出来るわけであ

海水浴場で

場合によつては丸木の柱を高一の荒い懸合約を貼るとよい。 見

眠の歌じをもつて耐も風速しも思

て汚いことになる場合がありませ一陽光線を強くかけて、色楽細胞の

増強を促しますときれいに治りま

絞り出し、アンモニア水交は石炭

に、皮膚の間に、白い斑點が出来

りません、交出来た後では人工太

| るめつたにないが海水中海蛇にか

まれた時は、勿論期日から加液を

メよく海へ行つて

観點になった上

く、

海水で濡れたまいではよくあ

皮膚病に罹る

大した割もありませんがさらでな

くない。殊にこの競手を二枚重ね

京み場 を作つてみたい

つろぐのに相應しい柔かな追述が一である

解諧しい望だけに打ちく

選生活を真に一致せしめたいもの し傷られることで、趣味生酒と經とは、何れの家庭でも直ぐに實行 い味が堪れて米ます、これ等のこ

電燈の

ことに配いて申上

家庭の人だけで出来

家庭手藝を

應用

郷ランプを小さい板の上に取附けほしいものである。例へば遊通の

(38) 戦合審漫案新覧型酬(キマノイテンタ)

を被ふせるのであるが、その笠には棚の上などに置いて、上から笠

て、それを適宜にテーブルとか以

夏の室内趣味生活

。自分の工夫で凉ー

紙などに見られない一般の美観

っこれを近ぐには海水浴をしたま

現れてくる。それのみでなく、

の方法は、これを衝立や邱風にも

数多い荒花のはを上下に配置して | 腰形して、適宜に間仕切やその他

つめちや嫌よ

嘆きのにきび嬢へ 食餌療法教授

殊にこれから影響と唱さの頃には前に大きな痕をのこします ればなりません、ニキビをふせく **小っとよけいにュキゼに混るつけ** と可能な器をふくみ、歌館、臀線 ます ます ます カらくるニキビを銃く態能があり 大間あたくめた上、渦 のでよってんでる。アルコールでよいて、 要な構造もふくんでるて大へんよ タミンOとBをふくみ、鰹節上心 殊 にネギ、玉ネギはど

・若・いが人のつやく、しておくとだんくいろがつて時に

あるべき頭にニキビのできるこ

のが最も經常的であ 婦人ものに限ら

一般比較下は、

意院場 福語本局2000人次都 **酒** # R 艮 七酒 岛井洞

赤-^{亦一}院



流行期迫る!!

店商吉友澤藤 社會式錄

の王國一座

3

・ は、 ・ は、

贈答品に

完全な食

菓乳

日 | 10 日 | 10

_E__B__B_ 酸優請一個 急勝コ赤陸 性確般認为性 フレ 便中下ダタ 変数時期経ル スラ剤網

坂井耳鼻咽喉科醫院 經濟

と打つてからると、安藝守は、左 五人の潜が得物をみを取り、ドッ 『誰か安養守を討て!要実は影みスルと、長政が、

した、これで、四

へ事性のあつた事を報告して城

この整き物見といふのは、形な

離一人近寄らうとする おがない、

んと身構へた単神の如き勢ひに、

上王立になつてゐた。寄らば斬ら

安懸守は、血の週の一刀を提げ

中に一三名逃去つた者があるが、

江 Œ

美鶴

旧汲峠といる峠一つ越ゆれば販井 べたる如く恋面に中られて躍れ

建て 際法寺 兵庫が

主君の兇變

狩猟と畜犬心京城支局主命の朝鮮 いたから、黒田の臣が、 た長時の蓋が、一度に、ベッと明 スルと、此時まで何事もなかつ と思いてゐると、點川與太美、

で十二日早野龍三氏司爵の下に明

国で来ました「台度出来ものか 気味で咳が出てゐましたが、二 気味で咳が出てゐましたが、二 時のやうに鼻の中がは

いはゆる異「かぜ」で異『カタ

が、家面の多いのは聖奇歌倫の麒|の真社の分泌が正まぬ塩合は耳鼻のののでしまり、「一」 れば熊準病や問題を供ふ度級は十一先づ続代配等の内臓で変替の治療を調べることで、これ等が見え、ルーの高かと思はおます。それでを調べることで、これ等が見え、ルーの高かと思はおます。それで つてもその母の内部の腫れや遺色 を努むべきであります、慰問が愿 付けに嵌つて、此中に恋んでゐた

ゴの果肉は琥迦をよくする幼龍 | 線をひらいて、脱し出します、そ | 窓の吹い真のかたい氷は上質ですの思い人によろしく、かつリン | 線をひらいて、脱し出します、そ | 浸める わけです 無色透明で 白いますが、リンゴの酸はやはり胃 | 器かごく太い本福堂がでニキビの | オードミオ・「最一代」

分あるわけです無色透明で白い|

の上で、純良な加里石鹸を少量の

れからニキビの手器 リます リます リます

水をぬつてコナ白粉をまいておき

た方がよろしい

鑑り出すより見く、安藤守の問題一糸の鎧、原草暦の日治を以て紙

附けてしまる。斯して兵庫は、 三百の同数を配り、嚴重に置め

だるを著用なし、同じ毛三枚綴の

「オ、、皆こそ兵庫の下知に從ひ と、岩尾交六が言ふを聞くより 一刀を背負ひ、武者草薙を踏みし をして七巻送しの小手脛窩、陣大

職る。名島の城内は、窓ち駅の沸 夜等は、長時の中に在りしか! この時、後勝又兵衛は、上下を 寒び、是より十五名の話と

の窮の者があるから、安藤守を守乙部、改笠因幡、黒田三左衛門等 の臣を相手に四人まで突伏せる。 測ねて三間柄の槍を把り、安酷守 まるで阿修羅王の如き敬ひ。 この他にも、黒田家には、管六

۴ 八重婦は、如何に?と見れば自給 て、當年二歳の友子代丸を膝に 子の安気に、霙は後ろに下げ、 たか、四邊には宛然人無き始末、 スルと何時の間に逃げてしまつ

勿職官兵衛父子と同意に相違な と思ったから、まづ職さの血祭り れは、安藤守内等入重姫が

護する十五名の指は、たちまち朝

さうでなくてさへ、多数に無勢

『あッ!』 ん有機ですから、

(死立必蝿)

と置き、

コロンビヤ

进夜三回上映

開催の女 1,33 5,65 8,15 名 入場を 60歳 80歳 かのの 館花浪 のの 割虫殺力强最 許特売專 鎖人

ラ 掃蕩せられよく 害虫群を 撤布で忽ち全滅します。 南京史寧もインビレスの 傳染病の媒介者 ■・戦 世界的教皇淑嶽法世界的教皇淑嶽法 元志整否的束纹升社的 社会式株造製刺虫翻阅是 月 的

婦

ら状への衛生」が

現や態チフス コレラ 東や態チフス コレラ とかし勝で恐ろしい赤 とりし勝で恐ろしい赤

開の研太ツ。 場理学映画のピカー 大河内県宍郎圭領 大河内県宍郎圭領 東京・ファーオンドラ・ファーオンドラ・ファーオンドラ・ファーオンドラ・ファーオンドラ・ファーオースプ主演

をした場合は直ぐアドをした場合は直ぐアドカルの生意を排ひ萬一個かりに物を喰べたりの季節こそ飲食物にはない。

+

町門小西府城京 町茂加天莽 亚岛山市进大 町修道區東市阪大

が腫れたりする時は、豆餡化オリ

ますから至極安心ですの小りにから至極安心でする有害な恋素や微菌をなった。

器質氷の見分け

糖次烷 辩

Ħ

熱戦庭球選手權大會 脊護員の心 遣り

るで蜂蜜を振り彼つたホット つけて、働き留の法承担はまは退退なく盟手の具置を焼き 長時間百世に蘇る直襲の太陽

窓関から関言へと的叫を加へいふ心道りに出手達も窓路し 選手送の手掌に乗せてや ボケットからし形をとり出し 野地野部町はも「これや理手 いで洪君に渡せば彼趾牖の矢骨髓からノータインヤッを政

の酷似だ、名頭をあげようと

ろ合脈となった単決勝一 から五一五と文字通り加みど 後後組の猛が飛に渡ひ三十三

れを行てやり直せ』と自らの

木,

なりは一層めざましかつた いた。、洪、李組の果成器原 は一層めざましかつた

選進手の選拔に種々なる問題を
射量を樹立すると共に、従来派
月本の陰噪においても前回のオ

性にして努力し本質に備へたので

野は、昨年の洋偏期から總でを破 来ないのである、希望を持つた選 来ないのである、希望を持つた選

質を通過せれば、如何なる天才的ある、なにはともあれ、この推進

けたのはオリンムピック強温度で

京仁驛傳競走 **陸上前半期回顧**

2

相當のひらきがあったほめ発に代 れも記録的にみて世界のレベルに

日本型生活所認識では今月末の配質を生大意味了後、八月中旬第一回の朝鮮遊紅をする

位との差は僅少であった何

日本學生馬術

表になり得なかつた(つぎく)

喜田

田場するのみで地方製選には田

第二節の選手が多く居るので、綾、鹿内也は北東ない元点で、昨年は第二節の選手が多く居るので、綾、鹿内也は北東ない元点で、昨年は 細と比較して低一重の鑑ひで、こ 年四月末から五月中旬の間に於て 各地に第一模選問が開催されたの

仲間入りが出來たのである の二名不出語であったので多少の の二名不出語であったので多少の 及ばなかつたが全国の環境

助高屋高助の梅王丸

(網技のうち)

快相荷』の映画化、監督は「二人間逆を配作の「新青年」所載「全」









雞冠蚊香の棒形も渦巻も

満れ北の快期のやうに頂皮

角を解消する

事政特許

番徳用で

国佐土政大

尿の病」と

ツ以丰帝会本店 東城城

八とシマつて黒の南ジマリを許すれる光きにするのだから疑問であて黒のだから疑問であてがら疑問であてがしまれていません。

制限時間各八時間)

笑の王

聚語(島·記

(自) 十八まの抱へとなつて、 (自) 十八まの抱へとなつて、 がっと行かない關係上、白の有利か(と思ひましたが―― 評解

局

者の言葉

の意中立行くもの、ことでは十に、のので中立行くもの、ことでは十に、のので中立行くもの、ことでは十に、の原中立行くもの、ことでは十に、の原中立行くもの、ことでは十に、の原中立行が、ことでは古来の外グのを自己に、の自己なのでもの。

△新興・お伊さん▲同・モテルの「京城の陸東記念口記典 washing the state of the state

その夕が偲ばれる



来あまり長になかつた重位級選手 選 医氏その他の先輩があたり、從 に しゅん こ こ 別 の で の 他の 先輩 が あたり、 と に しゅん こ しゅん

の新成に力を注ぎ、初心者を大い

商會宛の政治の政治を対して、大学を対し、日本の政治を対しては、政策を対して、大学を対して、大学を対して、大学を対して、大学を対して、大学を対して、大学を対して、大学を対して、大学を対して、大学を対して、

宮眞 オリンピック配

朝鮮発師の説部では八月一日から

朝拳夏季練習



















ルビ丸・京瀬

此個式铁彩剧同台的由

社會武林等決定十八人

にその効力にありり

商業登記公告

一次的業學學和此公生 一、同學主大台灣商社(新世界 一、同學主大台灣商社(新世界 一、同學主大台灣商社(新世界 一、明和特金主人月藝術日 一、明和特金主人月藝術日左ノ青 一、明和特金主人月藝術日左ノ青 一、明和特金主人月藝術日左ノ青 一、明和特金主人月藝術日左ノ青 一、明和特金主人月香桐里 一、明和特金主人月香桐里 一、明和特金主人月香桐里 一、明和特金主人月九日香桐

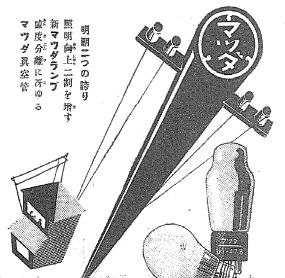
融準 備 特 朝 第11名称欧郡 "阿里本帝山东部" 《日本斯公司 日本新欧郡 一种 《日本斯公司 日本新亚郡 《日本斯公司 日本新亚郡 《日本斯公司 日本新亚郡 第111年 第11年 第1

商業登記公公

京歸全化出張所

方法院金堤出版

商業記登公告



法人登記公告

全州地方法院

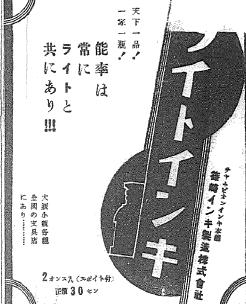
火を点した 顔の やうなもの いのは庭 かどやか 燈籠に 歯の



最高植物の純油

出型面 寫並明治参拾貳年 階 會株配式

朝鮮商業銀行

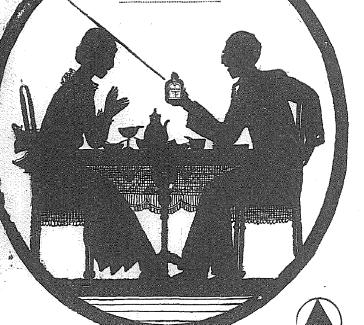


版出書圖育教 會五七二O一京原·洞鮰資城京

正領 30 セン

題號州支廳

もついに後食 Ŧ



新三ヶ月分(000年(日間 名) 新二ヶ月かか 三00年(1回 3) ・ 三ヶ月か 三00年(1回 3) 關東代理店並京談小西新兵衛商店 **發賣元** 蛛球 武田長兵衛商店

源物質、植物性インシユリ多量のビタミンB並口の基消化され易い蛋白質、脂肪 ルシウム、鎧………等。 ヌクレイン、レチチン、カン様物質、グリコゲーン、

る必要がなく。すべての胃腸症狀に 特長とします。 對し家庭でも安易に服用出來るのを 合含有しますから、その作用も極め 腐薬の様に症狀次第で使ひ分けをす て普遍的で、成分の偏した從來の胃 な多種の有効分を綜 て酷暑への低服力を蓄積しますの愛富な有効分は病弱や衰弱体のの愛富な有効分は病弱や衰弱体でしていまった。 が、病力を調査していませんが、

化にも抗暑の体力涵養 錠の服用は、

アペチン錠は强力な細胞賦活作用に

より胃腸の働きを旺盛にし消化液の

にも極めて効果的です

夏期に於けるアペチン 胃脇の强

慾 化

力を培ふ事は極め を充實して酷暑に 便通を順調にし、 **慾を盛んに、消化** って肝要です を良好に、 負けない体 同時に榮養

向へて、胃麝を强健に保ち食 身心の變調を來し易い盛夏を

治

品賣發田武

常にないます。 でまへ勝ちの食慾を振起する外でまへ勝ちの食慾を振起する外でなる。 をたかめる結果、特に夏期に於をした。

の含有する上記の含有する上記

36-1032 (O)

金融は機能的二十級に達すると れる金額脈に官業に於ける既料

切大資本家の所副インフレの如言 かどを徹底的に既行し、研ぐも一

大蔵省は豫算概算

をなからしめると共に、歴史生活

| 第二次國際充實計画 | 、下語側度の積極化に依ら中小。ご有力にしてふるので、結局には繋に於ける臨時 | 助成。 | 助成。 | 対である

氏を信故し、ロカルノ館職不参加 二丘脈にイギリス大便オーガモイ

に施するイタリー政府の回答文を一に對し、拒禁者では右主言を各外一

蔣介石氏が十三日

對日態度を宣明

(側)武器小路(屬) 吉田(帝) 大

(自) 各大便及特に國際經職份

鐵道省異動

せしめ、第二回ヨーロッパ大使婦、んとするもので、このパリ大使願・ロッパ各時制大使をパリに照合一方戦の職立に登する重要指針を掛・ は出展不動の方針を修立すべくヨーロッパ政策、就中国英、對訴、問題 一般認能の切迫に確み、有切外期」て詳細に命せしめ、婚姻の場面・「果真強語」コーロッパに於ける「く歸漢する佐麟、大田爾大使をし 日年開館日フランス大使ラロッシー 南洋戦闘強制の出控器を一腔機能 国の設定到おした、男つて永田振 | 観な事情は存しないと云ふに對し日年開館日フランス大使ラロッシー 南洋戦闘強制から一腔機能に導入交社 | も、多額の購入には絶易反対なる | を賃行すれば一千萬期底は何等国ー外科アンリ・スターク氏は十三一般影響制から一腔機能に導入交社 | も、多額の購入には絶易反対なる | を賃行すれば一千萬期底は何等国ー外科アンリ・スターク氏は十三一般影響制から一腔機能に

らざる金鯱の婦人方を監察したる。異戯目との間に婦人派を歴史経度に個人し、好くとも一千萬国を下、即は右外地の意向を貧重し今後馬

て、振歩省側では一般節能が断球 難に話しむ折断、各外地に對して

道京、郵便料金庫上等の増収計品

1分相アンリ・スターク氏は士三 一般脈節能から一般昏部に耐入及は「も、多節の鍛入には絶對反對なる」「ブラッセル十三日同盟」ベルギ 朝鮮、台灣、南洋、職太の各外地「る起度の線蓋使用は已むを得ざる」

のため指数番に明年度関係に関し一てゐたがこの程音が地長宮より要一は中央政府側が主張する各外地

【東京電話】大龗盆層は眺遠常出 | 地長日に迎接し、その意向を図し

陸軍では庶民生活寄與に邁進

伊の回答文

下級従業員の優遇
「おに極力選進する方針である」

すべき関係の関係権が大綱は断出 【東京治暦】我が大陸政策を選行

於では能米の推定経費を合せて好 日哲能に周辺勝西に文書を以て提

のれたが、右肘側は十二年度に

は今回提出された計数性は暗る要 くとも十個国際便の深原を伴ふる

京戦能の對日態度を設も明白

チオをもつて全国に即へられて国民政府の援助通信職にラ

を知悉してゐる、然し一切ものは誰でも「敦亡照得

四相會議を一

かしる耐地の豫領の増居は今後の

で重要条件(終令)を決定機能設置東京電話] 政府は十四日の郡跡

十四日閣議で

つて下部音をなし、指記委員に附って概認院では第の細下渡しを得

此程各外地長官から

拓務省に返電到着

製剤の手間をとつた、よ

恥することになつてゐる ロ會議小参加の

の後半に戻する金額も続い砂底十 関土二年度は大静大徳和以内に止 敷取風に埋するものと地界され。 一、政府の財政計算地位に関目原 かよる時代の財政計算地位に関目原

を要認する批解となり、和事末に 展行は関る軍大農をられてある。 「一十一十二十三年年前の養養總額は中与城中十城間 一類荷によれを副職するか、これが「解析的を派のる管である

如何に調整するかは注目!

民間を潤す金額

- 均年十億を突破

観著なる陸軍豫算の増嵩を

一ケ年計畫とし

陸相が各相に提出

院の歌風田首相、馬場戴相及び闘 等内略相は十四日の定例配識に出する方針は庶よ間定を見たので、する方針は庶よ間定を見たので、

しめる必要上版ね十二ケ家財政の現状及び将來を調和せ ぜし てその主

する見込である派してる、これが ため前半

1. 2 ため、調査局に代名べき | 公田公課の均衡、農財資債の徹 | 協力機関の設置、民間頻益を割 | 協合のが総務である | 場合のが総務である | 場合のが総務である | 場合のが総務である | 場面のが総務である | 場面のが総務である | 場面のが総務である | 場面のが総務である | 場面のが総務である | 場面のが総務である は今後定例部が席上菲細説明するで提出したが、その内容に跳して解しいない。 ことになった、右の他子は天體岩

陳濟棠氏の

要は館は十三日左の織令を織し第「上海十三日同盟」國民政府軍事

李徳福氏を第四治軍側署司令 る。一方人のグリーニ首相は新ず

トラー 總統に オーストリア 園の

十二日午前モントルーにて開館 以前部派は依然四月の役を受け 改訂會議

国家は郵後同僚的に参加するを、新健的成立後期用を基礎した 那條約は調印と共に一律に置

ことになり、 策國の外地統治方法 うである

十日内に南北の

武力衝突不可避

理整丁事に刷する原告的を超表し

記廿五斐に過ぎない、海軍省野

本観工を検定された五弦を加へ、金銭工見込みのものは一九三五

たが、既に週水を丁した二十人祭

しも之が恒久化するか既は巨部に一金五百七十萬國より設分増加す

下級に上るが で競打を象に で競打を象に

高動を見へたが、アラスカ外掛は

の意識の結果新條款の成立如何は | 望する時は外地を内地が擦取する| は目むを得ないと見られてゐるや

氏はイタリーの意識不益加減皆に

上國代表宣言

| 蜜した、次いでトルコ代数アラス | る部である

| 條約に参加せしめずとの帰硬主張| 【モントルート三目問題】 藤間覧一形勢が遺原となつた 獨奥新協定附随の

(ウイソ土二日同盟) 場換兩國政 ネル峠ー帯の軍備を総和させ得る 調手観を撤離する (サイソ土二日同盟) 場換兩國政 ネル峠ー帯の軍備を総和させ得る 調子の工衛化の運転回信取放ふ解文を掲載したが、魏安された献 に對しては、ロカルノ資脈その他 人機関制語書 (東京 一般 一般 1 ストリアイン 東京 (東京 上) 東京 (東京 機密附屬書及條項

【東京治話】植田味道大使より外】

禰洲國領内に

ルグ出家の健康を配正すると共に を基くるに至つたと見られるが、 ウィッ公使パーペン氏は葡萄皮類 彼常はなかつたが開稿の不進事件 を放射したと言はれ 田の時間響きにより返れていることが、 ウィッ公使パーペン氏は葡萄皮類 と内より「一大・大き」と、 一大を持ちるところは 健康したと気はれる。 して、 と 人様的である。 「アイッ公使パーペン氏は葡萄皮質、 中内より「一大腹腔の小皮膜の小皮膜の大腹膜の 関連値心に を基くるに至つたと見られるところは 健康したと気はれる。 して、 と の機能の表現を作まする場所は アーロ(三郎・下の) は、 この は

脂質制との副核上一年度限りの総要素は架とするも、一般意制と絵 は一戸當りに於ても、交一人當りも、一般外地の質耐はでの生産能

いのであるから内地に標の専隊は「する継続を説明するに決定、疎露宮の生産派は交ぞれに即復して安」館の決定に基まイタリー歌所に出知く見られてあるが、その駅入派、盟コニチアト歌府は歌級副歌奏政ーに過ぎず、そのは遊域は総裁の「埃及議會自一決二十三日同 埃及議會可决對伊制恭撤回 金融局配准部技工工品 明 盆 六二、四○金融局配准部技

(廣島) 坂口 忠次

L於ても内地の国分の一、二分の

大阪鐵道局長 日道監察官(二等) 野 (近期) 四間 列 何平河览

於剛克本官組織官 於剛克本官組織官 田野 行瓜

パリに會合を指令

郷田名の人事副新に闕し傾重寺园一門司徽予局神禄課長を命ず。川東丘盟と昭田墓墓に朝山兵が一任織道局参事(三等) 【東京記話】別田識相は就近以来 東京職道局連輪車を所長 大阪護道局連輪車を所長 高木

使として之に列躍し大いに之が浮 台の有意識を證得したので、本年 リに登集するやも指令した。ロー モントルー意識の終了を得つてい の下に行はれ、有用外組は駐白大 ッパ大使回議は昨年パッにだ

「田東京都統」の機能関係に対するのが同じは地下のかについて の内部も関いるとして細川についてはの総計組に振るで進むてみるが、新 者の意向では憲大を意思される世 に作よるな過程の策略が延生地では、 これの はいました かんじょ しゅうけい かんしょう しゅうしゅう しゅうしゅう はっかいじゅい

大部観だる東京党圏第を解決する「に続」改善なる方式であるとの設一所領域でお聞かし、之に基門政治が保護的を開始し、東京構成の総一することはこの観問地を解決する「岩上提出されるを書つて知めて事が依然を開始し、 文に表の総合

三次大館の討論の後、慰 十四日同盟 斯允石氏

で提出することになったので、自一大芸四国意識を聞き、財政と軍事 異類の内が全層出帯担の手許にま一可及的逆かに肖相、陸軍、海軍、

米艦艇の建造 進場とす!

海軍當局憂色深

wwwwを方面の部別を取選め近一海南岸豹の瀛湖失跡を則に、既定一急いでゐるが。 鄧NR Aに基く勢 カ跳筋はワシントン、ロンドン園「海池、各機鰹節七十八巻の建造「ワシントン十二日間型」アメリ「海道部港に基言復東の搬売量化

の内質定域り下事の逃げしてゐる の内質定域り下事の逃げしてゐる の内質定域り下事の逃げしてゐる 日頭の地野の地野の世野の地野の 関度融資しておたが、他族回復し セネヴァから閩南以来健康斯れず りは次の数字を示してゐる で開催、空田喜楽者外五名の研究七日午後四時から的園際紀A雑名七日午後四時から的園際紀A雑名 織を受け極端することに決定した 「問題】 イギリス外担イ 歴何出ハリハックス頭から事務引 の健康回復す | ッキミロ 十四日ロンドンに開音直ちに関 セントによってゐた▲その理由
を▲一九〇九年から一九一四年
る▲一九〇九年から一九一四年 子であった▲この数字ですらか 子の二五、六パーセントが私生の數字は正確に四分の一▲出生 通の人間は遠くのに一九三○年 五分の一即も二千二百三十五人 その文明の最高質にあつたフラい。『たそがそのウイーン』が 子だつた▲然しまだ聚くのは早 生設は一萬三百五十人で▲その 一、六パーセントは何と私生 れば▲闘年度にウィーンの出 のまた特つ近衛師駅が伝配したとしては「暗気な中間さん」を - ツ、ヨセブ陛下の御前世中は 私生子は三人に一人の割合だ 四〇 先 五九、九 ・〇〇七五〇・〇〇 デニー 胆七(出来) 大鼠童菜四国五人八個丁エタバイ 五年度の統領に 器が副の町ウ 市况 ーデン氏は 除け 過券の痛筋肉の痛みの痛 本舗 振 定價 冒 办 九 IJ 全国到る所各地店にあり 金五十銭 金三十銭 痛痛み 胸咽喉の痛い 紅のコリ 流 リウマチス 別用

11--14

の教育の延長

年制の理據と事例

の反員は延長は現在の風間に於てく大能の作子だが、大概省あたり

を及ぼすのである。そこで陸、海

「の敬意である。衣食足つて

さんには、なか!、大駒の野袋が一んにあつた。それほどチョンスケ

なく応ぎました、歴には描らず、 はありません、世間に名を知られび込んだのも、そこの転鰓でした だが 何といつても チャブ髷の鯉び込んだのも、そこの転鰓でした だが 何といつても チャブ髷の鯉

した鯉南は國防上にも重大な艦艇。の七百萬国は國原首體といふ事に於て最もその著しきを見る、から「てる高小教授の階紀で、その半額

者は約六萬人記官で「しかも少年」萬田は大部分が人性望でその中干」

板垣さんギャフ

は吸る歴史変謝能するものもある。内服戦の内には、接腕、熊闘等

窮鼠人を殺す

フオン最なるを以て早後之を貨地

人類幸福のために



版を認識すると、自然無視が必な あつて、円無が返に関紙的の報法 くから、50に範囲に重なれ、治 あつて、円無が返に関係的の報法 くから、50に範囲に重なれ、治 あつて、円無が返に関くずか

至十五の帰郷の栗庵で、尿道を洗 この

反響に聽け

なってあるが、此の語に強悪と はるケンゴールが踊ってれである。 被送に歌・変学語すべき終確な が満足に歌・変学語すべき終確な の解説のない学語を発表してのかっまり。 を表しいであるが、此の語に強悪と が満足に歌・変学語すべき終確な

たことは武事 明朗・健脳・美肌は一日一回の便通から!

が著しく

サトー ルで!

便通の調整はラキ

腿

(1) #

あつたので府館施設は十二日年

日までの間に安選、元山田岩管内

一分を占むる製材業者の不買によつ

から肝臓管臓器で温液が

【咸興】安邊增大川本支流、城川

電力を排し

鋸屑を利用

城津の各製材工場

しれまた翻設撤回に決定し

そつと元の踏

玉田府尹と町内聯合會の飜意懇請で

漁聯の明太統制 業者の反對に遭ひ

明太康脱の委形殿対跳貫廊と明太 | 利齢線から豪奢の猛烈な反射あり | を加へ十日商工寛立等した戦を明太魚,明太肥山。 | の 明太肌山下塩蝕養は 事敷粉金 | だがその後里にこう。 | の 明太肌田下塩蝕養は 事敷粉金 | 対えて光立ち度 | の 明太肌田下塩蝕養は 事敷粉金 | 対えの実行化し重 質行案を練り直す

成果」成南醫祭部では署長問題

「の熱誠に到し深むなる謝意を「治院各地に水防殿の渺遊を急ずし」いて須川洋行での他も近くこれに一副はんことを期す、併せて府「流院各地に水防殿の渺遊を急ずし」いて須川洋行での他も近くこれに一副は日東殿に河まり府民の期待「江本支流、徳池江、飛殿西大川の」「殿侍を既行するものの如く、つ」芸に現職に河まり府民の期待「江本支流、徳池江、飛殿西大川の」「殿侍を既行するものの如く、つ く外間日午前八時中から高型語彙の 大外間日午前八時中から高型語彙の 正色膜で武色原を観げ、引観る島 で殉職無照官指魂祭を執行する 先立つて八月二日午前七時咸南

清津神社の松林

江頭技師の調査で

原因は煤煙と判る

緊急評議員會

れ朝北側ではその対策に狼がして

展し 咸用臨粉脈では高地帯特 純作期待さる

一方山西工育部所議員はそ 「一方山西工育部所議員はそ」 「一方山西工育部所議員はそ」 「一方山西工育部所議員は、「一方」 「一方山西工育部所議員は、「一方」 「一方山西工育部所議員は、「一方」 「一方山西工育部所議員は、「一方」 「一方山西工育部所議員は、「一方」 「一方山西工育部所議員は、「一方」 「一方山西工育部所議員は、「一方」 「一方山西工育部所議員は、「一方」 「一方山西工育部所議員は、「一方」

【城津】歴近順木属、嬰鼠安の鯯ーその嬰材能像は尺緒三十二銭五皿

電氣會社は大打撃

ものあるを結感 | 血で約八萬キロを配旗してゐるが | 林梁が元づトップを切つてボイラ | 大部が下島に利用(収配のない) | 大部が下島に対している。

民は十三月府内中央町温股常氏と |登記球市申請園行請求:萬五千 | 歴であると能器観家殿の蛇総水に | 街中にもつた、十日の繭飛は独紋金が沢、土地壁物所有飯が | が、一方石の湖水各縣ではこの狀 | 【蔵集】光常純彩の繭は交も 所ではこれが国旗を考究中である

明るく朗ら

入春川建設に奉仕のため

民衆の費を聴

組造方を要求してゐる、月下間所 も事缺くので寡孫所宛に水栖中の

咸南春繭 九萬貫突破

「江屋」却の幸福大阪政川は干

「慶島」直当年に蘇聯的塔を会 える 医興に新任片山野長の肝焦

「咸奥」先馬製配の繭は交も三丁

立小學校母樂工事住三萬一千七成小 增築起工 (成興)

が 公舎堂屋に寄門 [成興] と 解説と資金として金質国名明方を申 出た

この周知を図り同時に民衆の聲 一日午後七時から官民有志四

> か今日なさればならの仕事化山山中氏 私は繁榮會長として一 は山中さんから一つの程を集めお願ひ致します、

(那并民會很好) 十 班道游(十一日悠) 動き

細民のため

——江陵鏡浦

在徒十九名十九日 日北行 日迎评上降、雄華 巨强评上降、雄華 (园) 十三日祠津 看長 家族同伴八

【展集】威州郡與南呂紫伽村出共 | 二十三回に宜り籐飯、籔製メイプ | を帰め煙器を最少限度に止める 同種相寅("p)銀行西耶客與(") 間線等金物製門の窃盗を重ねてる 金物類の被害二千六百圓 團となつて

町館行商車義均("乙)同題萬獲("元) | 局に这致された、被害金額二千六 火勢で増その他ので温建築現場で一 御整國(『二)師材明著("七)所離 | 概義され取闘べ中のところ未逃師

たが先月下旬隠滅つきて咸興署に

北满產業會社

飛ばして飲食代に製消したもので

【清津」 清神神は境内の松林は片 | 返の肥料分をなくするので衝勢を

専賣制度確立と匪賊の掣肘

間島の軍警大活

そぎ退治

阿片の密耕密飲を

ハ名を檢事局送り

の早天が續り

平南京義沿線の渇水甚大 各驛から。S

慶興に國防

み…… な「関境良好に関系を刺激し相切中」石を増加し、金額にして二萬七千 関境良好に関系を刺激し相切中」石を増加し、金額にして二萬七千

につき意見を交換した 「開握」十三日午後一時から府舎

▲所総合政策▲南北線道路政修 ▲十二年度 深洋組成方針(水道 高線公立間通学校制制、東西線 道路の動態、進泉、保護資料製 道路の動態、進泉、保護資料製 卵島め くり

十九日行ふ

な、参加希認者は至急申込まれたい。 豆腐江中の野島めぐりを正価する 【雄基】本配支局では来る十九日

結成式と調質を聞くとになった

チンビラ豚泥棒 漁村の高利

> 備に遺憾なき 具付の途が拓か 氏規の敗正に伴

た

ご朱昊様(゚ス)館與僕(゚ス)金貨幣 悪山場)呂内北一西事館社の氏 質的金融は漁業組合各級の施設を

院の整理を先決問題とする實情から成常水産當局では八、九羽日松 集された漁業組合理事と財団水重 職立しその實現を期せんには

正してを

行されてゐる

整へ

恐怖を忘れよ脳溢血中風の

草

然るにこゝにが殿が硬く變然るにこゝにが殿が硬く 地が原気がある、ごをが殿が 一番等いのが高能壓症、脚 心悸が態、中風、脚神壓症、脚 神響痛、中風、脚神壓症、脚 神響症、中風、脚神壓症、脚 神響症、中風、脚神壓症、脚 神響症、中風、響神壓症、脚 である。

同面規制里二一六尹東俊(こ)は同一學させた 皆仁面冷井里葵説明に思の小作人 【適川】去る十日午前九時頃即内

原泊指導放育を去る十一日から三一 「除名の未人管補充共に對し兵管 【遐源】 守蠅籐では哲下八週年八

日は川陸勘呼を見去る十一日から三

削

補充兵々營教育

州西面民が

風師な誘致 面民大會を開いて

四十歳以上の人で左の容態四十歳以上の人で左の行いたら自分の生活やに氣付いたら自分の生活やるがあれば直ちて悪いないのであれば直ちである。

「成典」、旅門金一萬国際出等を決明しては十二日面に大節を 明能し面内に踏動すべく用地の野 筆、碗金魚、春川消費配合 明能し面内に踏動すべく用地の野 筆、碗金魚、春川消費配合 た結果左の通り常塾 た結果左の通り常塾

開城府議懇

海貴來の眞價

重な機能を得るため來る八月三日一矽勝下軍の實践をするとになつた一億した名は対線の衆天下に遠汗難線の第一冊郡将飲矽勝下軍類の人夫となり「上郷行「清州」公立総築總裁裁科生二十一から賦上11日までの十日に亘り清「務也元

者地元有志八十年名辞列して

一覧に陥ち、地元民一般非常に

固城學議戰

激戦に入る

風堂々馬山

艨艟河を壓する豪勢に歡呼の大嵐

街は海軍一色歡喜に滿

の二関を提供せよ、でなければ他・開墾、昭和十年度制施強街、牧支閣前の結果この程に至り「質上部「館は十二日午後・時から公蘭堂で の上二、時開創 決算設告ありその他事項を打合せ

贈答を嚴禁 慶南こ布令

切もせず聲量を増し

いつも丈夫で迚も明かです

|関係職員に当し中元の形式的問答 なつたので道では鼓日削離内をは 【釜山】質例の中元阻答の整節に しめ直置各自署と事業別長その他 虚禮廢止

然中止するやう経道な通牒を出し ため民間側との阻答をもこの際節 の膨止を瀕蛇駐正の酸底を期する

て息切れがしたり、聲にも障って困りするので、身体は線の様に疲れ、後つラデオの放送や出演には、いつも無理

市川右團次

鎮海の海開き 盛大に擧行

多数田路の下に最勝に市明さが行 当では十一日午後一時から来戦

滋養強壮剤の

ましたのが、

養命酒を飲み

始めて

から

食然が進み出

食事は美

、身体

が迚も

大いに勉強して働くつもりです。世めてもの喜びです、熱任後も長取りにまで進捗してゐる事が長取りにまで進捗してゐる事が

競技にあったが、折から第二艦駅 小壁校各生徒及び一般有志の膀胱 はれた、式後を戦銃成所、女家校

翻典」記号、邑巻の千代ケ海海水

京仁官民招き眞價宣傳

1一十日頃から

井府邦の盟語に勝じて下亡、同節年生れの本年五十四歳大正二年語

一質防暴が認識部を展出しに浮山、

港に光彩を放つ

館に一部の上面的館を『己川歌』

右側次一番は十七、八日輩山脚県 【金山】福旭県菜中の西畑田市 平布引、町崎村、唐糸審御日見都たんまり、薩知

と命名、ホテル・仁川郡の名附親一義城南著に在城、同大年賦泉郡縣 から同語、帯路南部の馬弥主性を 既を即かし肚腹を聞へた、午後四時半端陰狸に終了 浴型の上空に戦は高く戦は低く戦 では飛行訓練中の多敗海道機が同

洲の三十頭清州へ安着

んなに

無理し

よくな

り、ど

でも疲

れも知

資理技生徒・熊仙・殿が民など数一字に野海が、智峰地で、小島がは「関した」のがは長年を記して観察に長年を訪り、 オスイン大、なは繁華人語と同時「が好事代理をして観察に長年を訪

さずがは超非常時

市の御賞を受けて直もに特党

出迎への宇野府野以下各行

後三時夜汽艇で配除した

しめて市場に現れた**・**産地は深谷 が原味を全身に張らして十二日は

水同枝保護者會

「大邱」感覚の果物界の機利内所

鐵道と果物 糾啀合ひ

が非常時海圏日本の武士の急者を

倭館四瓜

預金したり本を買つたり

無軌道ものは一人もゐない

海軍さん

獲用職一番は觀測の各貫の見ば、れて行った、なほ擬隊人街と同時

· 14.1 小木(新)線時九司(新) · 島山県)郎(新)角脇秀山海) · 荷水浸太郎(新)徳元一雄(新) 「下九替(新)

候削者は左の通り

丁五日の選択けまでには・、二名 | る府意ホテ ル、西公園湾遊 は楽光的を押し出すべく工作中らしく | の仁川近 海の路景 を一時に收む

は超過を模型されてゐる。立一つ廿日昭開業の理定で十六日は

郷龍に入つた、この外官監側からがあり組かに定員に遠しいよくし 十後に至り左記。近氏の正式四出で

日までは、人の正式自出もな 園城。型校組合議員の選挙は上

自和見の形であったが、同日

て飼命の結果、本巻に至り世上三一登書からお土産付きの編集がお返頭、牝上四頭、粃二十七頭の仔を一入りをしたと鵬燦書一様大いに帯でんだ、御島では本年またも牝だ。んである 産編単性二面、化三十頭を勝人し たて昨年から道院事試験周に落納一段良でその中數頭は底に行を孕ん 【清州】道では山間部落の創業と「呉泉県まで無事地路、翻聴殿場で」女學校々會も七萬五干田の正野で であるとが釈明したのではると、一式を同時に紹行の模様である は直ちに超質的直したところ全部一件本組の建築工事も進捗してある 旣に數頭お目出度

十三百頭とゝもに上陸し三十頭だ に入他のメルボルン丸で同僚の一

川閣) 田閣増である(筥庭はホテル仁 問程度で夫婦連れの一泊はその

「F川」競機に川支町では十四日 仁川で開く

長會議

程でした「【馬山」銀海要素部防御院松陽学

一切らかな風景を描き出してゐる

を鍛造質局に取上げられることと、城府資金町芸由東京。に係る詐欺、(本部)元豆城府鄭確慰經濟土豆、(大部)元豆城府鄭確慰經濟土豆、(大部)元豆城府鄭確慰經濟土豆、(大部)元豆城府鄭確慰經濟土豆、(大部)

| の主要物産来物料||富貴が観覚||網展事子部の下に開延、調碗飯事なった」と三濱准果物の立翼りも|| 専作の塩素超行公割は十二日午後

被告はかつて判権事を勤めてみ が、昨年よ月三月産業財で大郎 地方法院を展判事かに変換一年 か (三年間別行務財)の判決言談 所 れを不配として控訴し仕組の社 歌 れを不配として控訴し仕組の社 歌

からも阿鹿して陸村振興に闘するから三月間暗世上で管内四十餘ケ

不能となり、農村の一大意識に謝しは驚殺一年六ヶ月を水脈、物決言

でるる、営業器の共職への理三一渡しは来る十八日

沿岸航路に精米の

制に乗り出

造船業獎勵加一二大懸案

|川商議で具體的に研究

れた同訓館所の内容は

電一萬五千五百七十三坪、田一

電子五百二十坪、白計十八萬五十

三百七坪を有しこれへ継官派金

集、作業宝、納屋各一棟と應合

4 全仁川快勝

對延禧俱戰

つて新聞するのである。

なつたが、多大の期待のもとに生

力弱い第一歩を歩み出すことに

を銀行、農振運動の大理想に向つ

要の顧序で、三島所長以下三名時では受料、自習の後九時半郎け夜は受料、自習の後九時半郎が深続した干煙の實習を傾作薬を行ひ、七時朝後、午後八年業を受けて、七時朝後、午後の手入れ等朝食前の

過般新設された監民訓練所は十

船操刷示の朝曾、次いで草利、午前五時起床、五時半東方海拜朝は打ち鳴らず大太皷を合同に

馬山港内で遠泳

た。 では、東部、便差、文房は、難能等が無って艦を赤くした水兵さんも飛ん では、東部、便差、文房は、難能等が無って艦を赤くした水兵さんも飛ん では、東部、便差、文房は、難能等が無って艦を赤くした水兵さんも飛ん

段器出動で朝から代だく、名所統一 通りの角の東文英階離位で版主版比値能大繁語を転したのが、月里

ク流石非常時日本の海珀さんは**か**

物として一般旅客の好評を際しる人り戦、忠果、桃は京後親中の名

に立贯中の同地名産果物組合の語 |帰しに報の三浪池降ホーム

兀辯護士の詐欺

審判決よりも重い求刑 判決に注意を惹く

ものではありません、まア百園すから金額にしてみれば大したが、値段の張らないもの許りで

けば十一日午前四時半島亜院線に「一十二」町報、四萬間を投じて即

女校上棟式馬山府廳高

大邱のラグビー戦

いつも 聲量を増し、身体が迚も丈夫になって 朗かです。

らず息切れもせず、聲に張りが出て



瓶小 中国 がなる歌山仙機 で減らっきくてかみよい策を昭立する線。 が成れ戦所が配一校 が高い地子から が高い地子から で変記しますから でで変記しますから 場所へ覚てヘガキを御出 一番地路の商本館出

紹き愛飲しで思りますと、根知が 症世少し死亡んで野ました、する お放窓から戦へられ、卑鄙救めて盗緊張性難の発命機が大敗良いと と身体の工会が迚も良いので、

が福き費里を増し

は時代も良くなって、皮膚まで配け、対所が実際しく誰むがめかが吸では地が対象をはし出版も実になり

鹽澤

数珠強肚期として

10040100

◆根氣薄弱の人 ◆貧血冷込みの人 質の

◆神経衰弱の人 ◆强腦强精の目的 ◆不眠・息切れの人 ◆胃腸衰弱の人

◆疲 勞 倦怠の人 ◆呼吸器羸弱の人 ●産前産後の婦人 下さい。 おおけれた。 おおけれた。 おおけれた。 おおけれた。 おおけれた。 おおけれた。 おおけれた。

品切れ等の節は便宜上、東京田服所へ仰託交下さい。 代金引換は送料實費を頂きます。 **脫世發與元養命酒本舖天龍館**

由亞所養命酒本舖出張所

(瓜)(畑)

)の(夏)—

その後世には府内砂部長作本利作 た石川金景都守は壁の通り勇退し

後六時から月曜島大區間で第上回

定時過度を明確吉田蘭長より事務。氏を推蔵し、今後附置工館護所と

で大時から月取邸大阪間で第上回 | 理事は会節重任の外境政は左の語| 【上川】 桁勢振興館では上三日午 | 副航長に加端平太郎、金池蔵南田|

【大印】像て勇退を勝へられてる

今後の方策を協議

即地に否成十二、三名を選住一通り可決し間五時配館した

田 を盛して九時半散館した 等後、 新役員、野中渡過数宮▲理事業 秀雄、小谷益天郎、平岡宇太郎 か 子選子田 か 有里宝田 対尾道 に は、金楽樹

なほ石川氏の役伍として金泉都守 に築飯した作本利作氏は明布十六

月会泉に朝じ今日に及んだものぜられて迎日郡に來任同八年十在動、昭和六年十二月郡守に任

川府勢振興會 總會で陣容を一新

金泉郡守更迭

尿南鐵道の

スピード

試運轉の成績良好

【411】商工機識所職員總額は十一して研究を二世し、ついで議員第一長に推躍があつて墓戦館に入り職「411」商工機識所職員總額は十一して研究を二世し、ついで議員第一長に推定された加勝平太郎南氏の一

京城直通も計畫中

復期きゃ

勝した、関戦六時三十四分退に終り結局六割四で仁川 6 4 27 12 3 5 9 71 19 9 8 8 打炸鐵箍三四烷失 田岡內口門祭家本村最

即日トラックで思北道監事。村組の手で工事中の府職会、また。

慶南梁山郡農民訓練所竣成 の本庫

最振氓化

刀强く第一歩前進

疲れた身體には何よりも良い

で開催したかと一層膜を楽し食事が進まなかつたり 二代目 关中析您月

家傳 **法科弊組刊提**,

●全國有名の薬店、百貨店、食料品店にあり。 信州伊那の谷名産 製法日米專資特許 東京提谷區上通四丁目 拼 告地 酒



が生成研究は直接部内に置って、 があって、カカッもと」にあっては他の活動と生存の疑問があると」にあっては他の活動を加めません。 がおって、カカッもと」組成中の男がある。であっては他の活動と生存の疑問が返過されてあって、 があって、カカッとは他の活動としては他

如何に既往の對症薬劑に比し効果優秀なるかを物語るも

胃腸疾患治療の王座を占め、

廣く學界の認識を得たるは

わかもと、發見以來近々數年を出でざる今日、本劑が

深中華は脳内に乳酸物を別類せしめるこれ類似の質の目水中様である。 時内の目 「彩製という現象は大幅の中に出来る

早老・老衰の知識

を助け、

食慾を增進し、胃部重壓感、胃痛、吞酸、

並に 消化 Ħ

四肢冷感の如き自ら消散せしむるの 血液を新生し、體重、

精力を

腸カタル、便秘、下痢等を治癒に導き、

アトニー、

頭重

不眠、貧血、

亢進するに至る。

みならず、榮養を補給し、

難であった。

作用にとどまり、胃腸組織の根本よりの正常化は到底至

に随伴して來るそれらの一症候を僅かに抑制するのみの

便秘に下劑等を投與するは、要するに、胃腸機能の異常

胃酸過多に重曹、滅酸症に稀鹽酸劑、

下痢に上海刺

先づ症候の根源をなす衰耗胃腸細胞に賦活して之を正常

然るに「わかもと」は前記の如き末梢の症候は重視せず

種の酵素を補給して消化機能を強化せしむるにより、 に引戻し、且つ胃膓内に分泌される各種の消化酵素と同

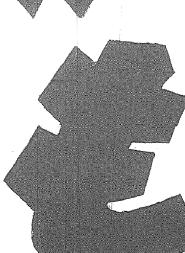
(可認物便郵桶三龍)

胃下

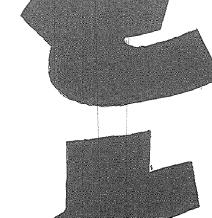
重:酸過多:下

痢便秘

(5%)







食慾 不振貧血 削瘦·發熱

べからざるは病原菌に對する抗毒素、殺菌力の増加によ するの効果が與つて力あるは勿論であるが、特に看過す ヴィタミンA、B、アミノ酸等の協力により榮養を増進 る積極的旗能力の賦典である。 数の効果を認めらる、は、本劑により胃腸機能を強化し 「わかもと」を結核その他の慢性衰弱病者に投典して異

もと」の出現は正に結核、慢性衰弱療法の割期的な薬物 効果は蓋し期して待つべきものがある。 らる。 として各臨床大家の賞用を蒙むる所以である。 從つて白血球の喰菌作用を促進するオプソニンも増加せ 見るは京都帝國大學の實驗發表によるも明らかにして、 するに腐心せる感ありし既往の微温的療法に對し、「わか ル製劑、滋養强壯劑等により僅に患體の衰弱增進を阻止 食思を誘發し、 力は亢進し、結核菌の勢力を挫いて發熱、 あるが、「わかもと」の投與により白血球の著しき増殖を 白血球が凡ゆる病原菌を喰菌するは既に周知の事實で 新陳代謝を旺盛ならしむるにより、 而も本劑中の活性酵素は衰耗せる體細胞を覺醒賦 衰弱の恢復を早め、體重を増加する等の 盗汗を緩解し、 相俟つて抗病 グワヤコー

掛圖

0

281

ts

4]1 教育 IJj 成 0 た め

成芸に徴して明かである。

14

C 御 活 用 下さ ()

客頭申上げます。 御願ひ致します。小學校ではその券を御取りまとめの上、東京市芝公園十一號 換券』を、一枚も無駄になさることなく、最寄の小學校へ御寄附下さいます様 な殺授用溝圖一百萬枚を全國小學校 舗空資と育見の會では、吾國小學教育界の権威より成る教育資料會編纂の優秀 地、教育資料會へ御途附下されば、 られない點に鑑み、選分でも小學教育の御役に立ちたい考へから、わかもと本 小學校で必要な教授用掛陽が良い 【錠劑わかもと】御愛用の皆様方は、一瓶毎に添付されてある「掛圖寄贈引 規定の複數に應じて御請求の「斟躓」を御 ものが少く、あつても費用の點で備へ付好 御寄贈申上げるととになりました。



新五七——去代芝蓝冠。番〇〇七一京東昔振。[6]"门大圆公芝市京東

今の見育と養祭舗本ともかわま物

競撲症、もるす顕版でに店襲闘全 個樂は方ゝる主星を築送りよ元襲 す送急もてに簡一第天全送2の

錠〇〇三劑錠 瓦〇九末粉 十六圓 韽

廉低價菜

になった。早ければ明年四月から既施される模様であるを期することになり、近く富水域が局長の手町で具権家を作るこ にも兒童虎待防止法を實施、十四鐵未端の兒童の敬化、

四日午旬十一時四十分京城縣南 人に重傷 橋南町の事故

町一一三番地先で、蓬萊町太陽タ 一週間の正偽を買ひ、赤十字病

グン・自動車が紅地前一金氏(**) 宇島ファンの解説を設立して五、歌舞に巡測部歌融合を行ふとになど月町二四配果会で5の朝名を刺。全國が市局流野郷に出場する原錐(成して―七日午後四時半から京城の月町一四配果会で500回と南手に作)代表全京城市は、淡郷融管員下本「歌舞に巡測部歌融合を行ふとになる。」 *** 可守全京城が 全京城と送別戦

| 研御勲すべく京城巡뺓配為匹祭部 | 将金四十銭、二十銭 七日午後四時半から京城

虫を食る。熱帯植物 から來た

デオネアは低に齟取地賦と

昌慶苑でものすご

な盗がついてゐて、これを目標に

中の子供等の精神的、軟節的兩方

京城基質敬尚年間では、

夏の子供の

挪下げ當時の口約を生かし

持主丹羽氏の心境變化せん

ア經田、日本記班殿蔵中の場建、 | 様在總帯曲から塗られて来て昌慶。日午後七時性子会産勇非でク(リ | ◆―― 道くボルネオ、スマトラの

土耳古、 光國、印度等廿ヶ國を踏 | 苑間物館で大事に

前でられてゐる

十月末記憶の歴史であるが、

日午後七時四十分起列略でシベリに投宿した。府内別製ののも十五

一周實業就經驗前資本下數務理事日本的過級與與主席,第五回世界 の甘名は、上四日華人城・原門屋

渡歐の途入城

ヤと

南國

劇場建

- キバンセスは俗にウクボカ

同胞號愼飛行士元氣で歸城

の經滅に答へると共に音等の「前」数ばれてゐる(質氮は崇井さん)。究の劇別的肚癭を完成し、半島民」の指導等として變ることを非常に

斎蹟的に命びろひ

電車に刎ねらる

春二十分別ねがはされ、明是に治し後期に現底町二丁三晩行前校が宏 通一ノー七八香塩光で、京城縣行

政淵澤刀自

内鮮折衷の墳墓

澳賣出中

京城府

その結婚にも似た背目の愛術と今 金校別つて出籍と愛情の食やみは一の観、故福神能影子刀目逝去後、 日の「大浪!」を行んでくれた大選 京城淑明女學校では、同校の生み一てゐる ける『淑明』が納骨式 一つの阻盗

三つの帰訟事骸について西天門、 まだ手懸なし

造元大阪曹原協会会資祉北大百貨店にて販賣・マー

新和一年七月十三日 明和七年七月十三日 明和七年七月十三日 明 節 页 義 議 金 郊 午後六時五十分逐に永眠致候此段譲 肺炎にて加瘀中の處薬石効なく本日 父隆大議 去る七月四日より急性 理而告別式は七月十五日午後五時京城府大和町世巻

北山野地 越

取するか、味は他に前場を**類似す**

目でのましの状態である、處が

一桁より買ひらけ、その後間氏は

あり、かつ公意政権としての性質。そは往日されてみる機場として設備の上に送多の終紀。傾隔却のない折轄なのでこの成行

火た、何れにしても夏城府民館が

完、何れにしても夏城府民館が一彩い際とて、文化都市夏城に近代建設 の職が持ちあがつて 上登数的に使用する事には異顧の

方面と折断して発果したが、古宮 但能の出真政務を承城せしめ、各

が氏の代理人として

登山ゆき臨時特急

ランド陸上記手権大飲及びオリン

ヘルシンキで銀行、第一日に出し

一巻 フイランド 四十一砂九

委員會出席

清 日本 (青岡、佐々木

分蘭を完全に**壓倒す**

ドも取れたが四十一秒九とライー

生字引の荒井さん

参の功能と、食い置賦を生かし、一般の功能と、食い置賦を生かした感 界に終始し、臨道の生学引である

ることに氷定、帰近県即した漁将輸送を処利すること、なつた、なほ師列戦の京城艦時期は午後二世以入月一日から巡峽を中止してゐた瓦地縣を山行艦時幣急第八人列車を十八日から東び巡峡

壁の山麓、路林を縫つて長戦道に

の他の御出版を申上げて御参考にこれでがしばかり登山の用版やそ

次の設は昨年このキャンプで寶丽 ハンを飲ひましたが、これを他の

花生、胡桃、氷砂湖などが複合

寫遺は日本チーム上から吉岡、佐冬木、谷口、鈴木君

どの快速遊標品で、開敞四十里の

る、大阪山での食気は一日四十七

に代へて報きたいと思ひます

日(朝)味噌汁(キャ

午後二時五分京城發

8

第三日 (朝)味噌汁(玉漱)。

〈行隊發先部岳山專灣科齒

界日キャ

宗教へ、四十度の急が端を修正に

必要な携帯品をお選びなさ

・ E (朝)味春汁(4)海苔伽煮(海脂(塩) パングープマン

为命器成、江戸程、

最大部品山内医月酸の直蓋酸山林強てLと蘇那川の會のアンヤキと 石化で分五十五時一後日五十十歳本、大し部出を城京後日二十七歳

原五日 (碧) 展職群 (わかめ) 原五日 (碧) 保験計 (初物 (表) おり瀬守雄語、初物 (元夏) (文) はり瀬守 (元夏) カント、南加 登) 医原焼、酒物(夕) さ)

を緊視局盤版として優得局域の語「窮を建て遺物を永遠に縮ることにしめることになつたのだが、縁起・退席内断に内地域と襲撃或折裂の徴の級門擺撒と緩撃終発延期たら「衆への監論報應のため、同校では、彼の級門擺撒と緩弾終発延期たら、業への監論報應のため、同校では

なった、ける十五日午前九時、

田莊に迎んで置ひ、毎日天幕村に

信 便 食 全 全

公告

断一行4五名は、松田教師が引着 肥兄島・高原文部の流洲道能教力

旭

尿城で手合せ

橋

水重 豐 忠 大 辰 太

作郎二郎彌

下香地 主 母 母 **迎東山里四百三** 十四日 三井合名育社別鮮農林事務所長結 吸送六時五十分逐ニ永低被致候間以段後六時五十分逐ニ永低被致候間以段後六時五十分逐ニ永低被致候間以段ががが</ 結城家葬**儀**御用逵

而告別式八七月十五日午後五時原城府大利町也等 事 *(f)*

所

翻

意識 記述

なるうちに盛んな慰婆療を動行した手、動機部内・松陽鍵系学長の百磨 **漢江水死者の慰靈祭**

ピック全期間中ベルリンに選在

タクシーが

海外進出に努力するほか、オリ

が降る時に輩の口をよさいで用よ

技師整地は、その後施設

れば政府を昭可され政が出来る談 をなし、移野してゐたが、吃問期

本一クレヨン 直クレヨン

おみ

40

でで

科科學和學學學

會

社 本際景景·新和田醫院 花柳病專門(新) ※ 京日案内 告に限り特に査団にて掲載すり登しの場合に対して表現がある。

電

強補

血 精

特别拿内 金 特別立替

外る(カタログ量上)

人
クリーム製造機

代の要求に鑑み合利も供利率的 課例では、此の他原注を締役官 実現では、此の他原注を締役官 存成が本町エノー四 合名會並 第 英 単

外務社員募集
中外形計員募集
中外形計製造され時人子五級
は上中五級名の3名物類家優点
は用する第音は解析場や来談る
りたし但は勝人を愛う
・大変に丁目
・大変に丁目

なく、輪の中に交つてゐた末日

鈴木四段善戦 控時間各七時間

消費時間

二流争弱・加設指 步 銀步步步步 全 玉 共

角金が

胞

2の一手である。 易一郎

和の常譜

たので、最早目裔を攻めらるゝ心路本君は敵が飛車を防職に用ひてしまふ

| 智級録 (三) 伊藤 歌 同七時一分(東)朝の修発 同七時一分(東)朝の修発 | 日の天氣見込

十五日番組

同六時三〇分(京)英語#B 年前八時(東)ラデオ雅掛 第一放送(水曜日) 送

腹歌と俳

十六日き、物

午後零時五分

御贈答に最適

頭痛等

苦痛苦痛云わずのんて見給へ

万

が、ばつたり答りつかなくなつて 男たち女たち(こ) 出し扱かれたやうな領標と、鉄

たら何か云つて苦しめてやりたい の際の館付が設立たしく今度逢つ とその事に気を取られてゐたのだ 『お互ひ機ね……』佐田のことも

歴歌に美つてゐると、須藤は武
が成武家なの?

「英武家なの?」 『何時ぞやは大麩だつたのねえ… 此の男に酷けば解るかも知れない

おゝわが心。ひろひろと。 はかげろひて。もゝ千島。

高杉西店回漕部 (田回羅爾麗語) | 二〇ま

三、混聲合唱

女性の美と健康を

不順と寡少

韓嶺(百草位) *10歳(1間40) 100歳(1間40) (14百草位) *10歳(1間40) *10歳(10は40) *10歳(

36-880(O)

司
る
卵
胞
ホ
ル
モ
ク

(%)

たかめ、以て女性の健康を保護均進せしむ。而力減衰せる諸臓器の機能を賦活し、新陳代る邪胞ホルモンにして、卵巣機能を活潑ならホルモンは 女性特育の機能を發現せしめる重

乳汁の分泌不足にも賞用せらる

初老期(月経閉止年齢)の頭痛 女性神經衰弱、憂鬱症、月經痛

们宜大定经用

心悸亢進。四肢冷感・視力減退

品に全く一致せる結晶性製劑

的修业原東市阪大 店商衛兵長田武器 元 寶 壺 町本市京泉 店商衛兵新西小監

所究研藥器器計圖帝 詳

店型代來圖

月影のいたらぬ里はなけれど

仁州汽船或會計

他町一厂3 - 沿岸各方総行貨物取扱 源(忠層牙山部) 田帆 源(忠層牙山部) 田帆 用

ROKUDA

+

定應適 子皮口姙酸慢胃乳常便 宮膚 展門 性酸幼習 內諸陸性弱下過另絕腸 膜疾 嘔嚼痢多便結麻 炎患炎吐螺症症脳症 ◆リ 1 博士 日 々 萬病は便縁が原因なり参グレアコール博士日々病氣は殆ど皆宿便より起る◆トレギリエール博士日々福便無さ人は病に冒されず

大阪市東淀川區十三六 大阪 鹽 鸚 面 出 張 所

(長生法御申込次第世皇) 全 國 各 葉 店 ニ ア リ

三六〇8人 整復 一円一十歳

本紙一萬號記念懸實小說二等當選

禁無断上演映

に配を射るやらに違つた文字を

で田植すましたへ民り道

現 代理店 大海丸丸 代現丸丸

問題を発文語 関節調整支配 問際運輸支店

北地高温

盛福春川支廳

商業登記公告 **嶋谷汽船株式會計**